

# 第12回学術集会報告

第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会  
会長 柏原 直樹

一般社団法人 日本腎臓学会 理事長  
川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 教授

2022年3月26日・27日の2日間、第12回学術集会を岡山コンベンションセンター(岡山市)に於いて開催いたしました。重井文博先生(医療法人創和会理事長)、花山耕三先生(川崎医科大学リハビリテーション医学教授)、佐々木環先生(当科教授)に副会長として、さらに横野博史先生(岡山大学学長)に顧問としてご指導いただきました。

前回の第11回学術集会がコロナ禍において完全Web開催となったこともあり、今回は現地開催の可能性を模索してまいりました。しかしながら前年末からCOVID-19オミクロン株による第6波が国内で急速な広がりを見せ、岡山においても1月27日から「まん延防止等重点措置」が適用されました。そのような状況で今回の学術集会を安全に開催できるか、皆様に安心して来場頂けるだろうか、と最終決定の直前まで検討を重ね、最終的に現地開催とオンデマンド配信によるハイブリッド形式での開催といたしました。幸いにも3月6日をもって全国的にまん延防止等重点措置が終了し、ご参加の皆様およびスタッフの方々のご理解・ご協力も頂き、無事に現地開催を執り行うことが出来ました。ご参加頂いた方から「やはり顔を合わせてディスカッションを交わせるのは良いですね」といった声を多く頂戴し、こうした面でも大変有意義な学術集会となったのではないかと感じた次第です。

本大会ではテーマを「腎臓リハビリテーションで well being を実現する」とし、現地会場では理事長講演、特別企画、シンポジウム、関連学会とのジョイントシンポジウム、How toセッション、YIA セッション、若手活性化企画を一部リモート形式や事前収録も取り入れながら実施いたしました。4月11日からのオンデマンド配信では上記の配信に加え、教育講演やよくわかるシリーズの配信も行いました。一般演題につきましては176題のご登録を頂きましたが、今回はやむなくオンデマンドでのご発表という形とさせて頂きました。来年こそは会場での活発な討議ができることを祈るばかりです。

今回の学術集会には1,338名の方にご参加を頂きました。会期直前に公表された令和4年度診療報酬改定におきまして透析時運動指導等加算が新設されたこともあり、例年以上に注目を集めた様に思います。今回の新設は診療ガイドライン作成や指導士制度の創設など、これまでの腎臓リハビリテーション普及の証左であり、今後も益々の発展を遂げていくものと確信しております。

最後に、この度の学術集会開催の機会を賜りました山縣邦弘理事長、上月正博前理事長、理事の先生方、プログラム策定にご協力いただいたプログラム委員の先生方、ご参加・ご講演を頂いた皆様、ならびに大会スタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。

